霧の子午線（1996）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 106分
初公開日 1996/01/20
公開情報 東映

【解説】
　高樹のぶ子の同名小説を那須真知子が脚色し出目昌伸が監督。木村大作が撮影を、星勝が音楽を担当した。岩下志麻と吉永小百合の初共演が話題を呼んだ。
　ちぎり絵作家の沢田八重はクローン病という難病に冒され、二度の手術を経て東京から函館に引っ越した。函館には大学時代からの親友である鳥飼希代子がいた。希代子が探した物件で新しい生活を始める八重だったが、希代子の息子の光夫も、希代子の恋人で後輩記者の高尾耕介も、美しく優しい八重に魅了されてしまう。耕介と八重が肉体関係を結んだことを知っても、希代子は八重の限りある命を思い黙って見過ごす。希代子はかつて、八重の恋人だった淡路新一郎と結ばれ、そのときにできたのが光夫だったのだ。

【クレジット】

監督	出目昌伸
製作プロデューサー	東一盛
	小島吉弘
企画	岡田裕介
プロデューサー	横山和幸
原作	高樹のぶ子
脚色	那須真知子
撮影	木村大作
美術	今村力
編集	西東清明
音楽	星勝
テーマ曲	玉置浩二
助監督	原田昌樹
出演	岩下志麻
	吉永小百合
	玉置浩二
	林隆三
	山本耕史
	北條えみ子
	井川比佐志
	本田博太郎
	筑紫哲也
	風間杜夫

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.